

授業概要

日本経済の発展段階をいくつかの時期に区分して、経済の構造変化とともに政府の経済政策の焦点も大きく変化してきたダイナミクスを分析する。講義で重点を置く時期は、復興期から現在までである。デフレが持続し失業率が高止まりし、低賃金・不安定雇用が拡大している現状を理解し、21世紀の新しい経済政策を展望する。

授業計画

第1回	講義の目的と構成
第2回	前史―戦時期と戦後混乱期
第3回	復興期の経済政策（1）―占領体制と経済動向
第4回	復興期の経済政策（2）→生産再開から復興へと
第5回	高度成長期の経済政策（1）―経済メカニズム
第6回	高度成長期の経済政策（2）―高度成長のメカニズム
第7回	高度成長期の経済政策（3）―産業政策からインフラ整備へ
第8回	安定成長への構造調整期の経済政策（1）―国際環境の変化とそれへの対応
第9回	安定成長への構造調整期の経済政策（2）―スタグフレーションの克服と輸出主導型成長
第10回	バブル景気とバブル崩壊前期の経済政策（1）―資産価格高騰と実体経済
第11回	バブル景気とバブル崩壊前期の経済政策（2）―日本型ネオリベラル政策
第12回	バブル崩壊後期の経済政策（1）―金融危機とその管理
第13回	バブル崩壊後期の経済政策（2）―金融規制の再構築
第14回	日本経済の機能不全と代替的経済政策（1）―デフレのメカニズム
第15回	日本経済の機能不全と代替的経済政策（2）―21世紀の経済施策の構想
第16回	定期試験

到達目標

- ・日本経済の構造変化とそれに伴う経済政策の変化を説明できる。
- ・日本の経済構造と経済政策の変化を示す統計の所在を知り、その読み取り方を修得する。

履修上の注意

- ・シラバス（授業計画）および統計を配布するので、毎週必ず持参すること。また一度しか配布しないので注意して下さい。
- ・シラバスには授業内容の概要しか記載されていないので、しっかりノートをとること。
- ・講義の最後に出席調査を兼ねて、その日の講義内容をまとめてもらいます。
- ・やむをえない場合を除き、欠席・遅刻は認めない。また授業中のおしゃべりは厳禁です。

予習復習

- ・シラバスとノートを利用して復習してください。
- ・特に統計の所在とその読み取り方を復習して下さい。

評価方法

- ・講義のなかで小テストをする。
- ・小テスト(20%)と期末試験(80%)を総合的に判定して成績を評価する。

テキスト

- ・テキストは指定しないが、関連する資料を配付する。